

## 相談集計報告：期間と担当者指定

基本情報	相談内容	継続事例 経過確認画面	管理画面	相談集計 期間	相談集計 期間/担当者	データ 出力	終了	印刷
検索 画面へ	相談受付日	2011/07/10		担当者	静岡茶	検索実行		

注) 相談受付日は、1日の場合は月日を選択  
期間の場合は指定期間の間にピリオドを2つ入れてください(例 2011/7/1..2011/7/31)

相談形式		相談者属性		がんの治療状況		相談内容：小項目別			
対面相談	2	患者本人	0	診断なし・精査中含む	0	がんの治療	0	食事・服薬・入浴・運動・外出など	0
電話相談	0	家族・親戚	1	治療前 診断後療養中含む	0	がんの検査	0	介護・看護・養育	1
その他	0	友人・知人	0	治療中	2	症状・副作用・後遺症	0	社会生活・仕事・転居・学業	0
相談件数総計	2	一般	0	治療後	0	セカンドオピニオン_一般	1	医療費・生活費・社会保障制度	0
<b>電話状況</b>		医療関係者	0	経過観察中 療養治療3ヶ月以降	0	セカンドオピニオン_受入	0	補完代替療法	0
外線	0	その他	0	その他	0	セカンドオピニオン_他へ紹介	0	精神的苦痛	0
直通	0	不明	1	不明	0	治療実績	0	告知	0
内線	0	<b>患者受診状況詳細</b>		<b>患者疾患種類</b>		受診方法・入院	0	医療者との関係 ・コミュニケーション	0
電話以外	2	自施設入院中	0	がん	2	転院	0	患者家族間の関係 ・コミュニケーション	0
<b>相談者性別</b>		自施設通院中	1	がん以外	0	医療機関の紹介	0	友人・知人・職場の人間関係 ・コミュニケーション	0
男性	1	他施設入院中	1	<b>がんの状況</b>		がん予防・検診	0	患者会・家族会・ピア情報	0
女性	1	他施設通院中	0	初発	0	在宅医療	1	その他	0
<b>相談時間</b>		受診医療機関なし	0	再発・転移	2	ホスピス・緩和ケア	0	不明	0
総相談時間	0:39	その他	0	その他	0	症状・副作用・後遺症への対応	0		
相談平均時間	0:19:30.0	不明	0	不明	0				

(上のように、結果がブラウザモードで表示される)

注) 検索結果が表示されたとき、相談受付日は、期間入力の最初の月日しか表示されないが、検索結果は、検索期間となる。

- ② 印刷する際は、【相談集計 期間】画面と同じように、<印刷>ボタンを押すと、印刷画面に切り替わり、印刷設定を促す画面になる。また集計画面は、プレビュー画面になり印刷イメージを確認できる。

なお、印刷時には、左上端の水色のボタンは、印刷はされない。

「管理日報」に関しては、P12 参照。

## 8. FileMaker Pro とランタイムアプリについて

### 8.1 FileMaker Pro とランタイム

【相談記録ツール】フォルダには、

◆sodanappli フォルダ

FileMaker Proが端末にインストールされていなくても単体で動くアプリケーションの形に加工されたランタイムソリューション（以下、ランタイムとする）

（カスタマイズはできない。機能も一部限定される。ヘルプ機能はない）

◆マニュアル等のファイル（PDF、テキストファイル）

◆【FMPro 用ファイル\_付録】フォルダ

相談記録.fp7のファイル→FileMaker Proのソフトウェアを持っていて、カスタマイズを考えている方専用の付録で、通常は不要。

◆Backup フォルダ

が入っている。

相談記録ツールは、開発者用のFileMaker Pro (FileMaker Pro Advanced) で作成したFileMaker Proがなくても動作するデータベースである。

### 8.2 ランタイム使用についての注意

(1) ランタイム[sodanappli]は、市販のデータベースソフトであるFileMaker Pro Advanced 11.0 で作成しています。WINDOWS 環境で動作します。(MAC では使用できない)

(2) 配布しているランタイムは、開発途中の試用版

現在、ご希望の方に配布しているランタイムは、開発途中の試用版。不備な点、機能など不十分な点もありますが、ご了解ください。

(3) 継続使用時の連絡（修正版の継続配布）

このままご使用を希望される場合は、改めてご連絡いただければ、修正や改善したランタイムの新バージョンのお知らせをお送りします。ご希望があれば新バージョンをお送りいたします。なお、このランタイムは、ファイルメーカー社のテクニカルサポートはありません。

- (4) ランタイムの起動は、必ずランタイムのプログラム本体 [sodanappli.exe] から行う  
配布している[sodanappli.exe]は、アプリケーションとして起動します。通常のソフトでは作成したファイルをダブルクリックしてもアプリケーションが起動しますが、このファイルを開く際は、必ず、プログラム本体である[sodanappli.exe]をダブルクリックして起動してください(この手順は大切ですので、十分注意をしてください)。

注) なお、複数の相談員で使用する場合、それぞれの端末に配布しているフォルダごとコピーして使用してください。

- (5) ランタイムは単体端末使用で、ファイル共有はできない

ランタイムは、単体端末のみの使用になります。ネットワークでのファイル共有はできません。情報やデータを共有する際は、あらかじめ、各自が定期的にエクセルにデータをエクスポートし、これを[管理用]として別の決められた端末のランタイム[sodanappli]にインポートし、統合したデータを再配布する形式をとる必要があります。

何人かで使用する際は、[管理用 DB]とそれぞれの相談員が使用するランタイムを区別してください。

- (6) ランタイムの拡張子：プログラムは[exe]、ファイルは[fas]

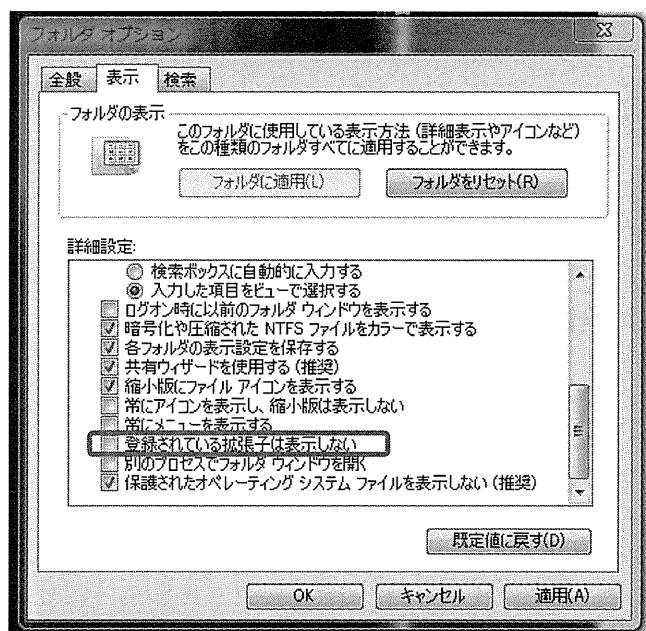
たとえば、MS Office のWORD の拡張子は、[doc]、または [docx] です。

ランタイムでは、アプリケーション本体は [exe]です。相談FAQ、相談記録DBのファイルの拡張子はそれぞれ異なり、相談記録の拡張子は [fas]です。

[sodanappli]フォルダのなかには、たくさんの機能ファイルとともに、アプリである[sodanappli.exe]、メインファイルである[sodan.fas]が入っています。拡張子が表示されない場合は、アイコンで区別してください。なお、WINDOWS の設定を変更すればすべての拡張子が表示されます。

#### 注) 拡張子の表示

コントロールパネルのなかの【フォルダオプション】を開き、【表示】タブのなかの【登録されている拡張子は表示しない】のチェックをはずします。



(7) ランタイムに関連したプログラム、ファイル等は名称を変更しない

ランタイムのプログラム本体、ファイル、ランタイムのその他機能ファイル等が入ったフォルダなどは、名称を変更しないでください。変更すると、ランタイムが動かなくなりま

す。

例) 相談記録のランタイムの場合

- ・【sodanappli】フォルダ
- ・[sodanappli.exe] ランタイムのプログラム本体
- ・[sodan.fas] 実際に使用するファイル

青字の名称は、変更しないでください。

注) ショートカットキーを作成したときには、ショートカットは名称を変更してもかまいません。

(8) ランタイムのカスタマイズは不可

ランタイムで配布しているアプリ化した[sodanappli.exe]は、カスタマイズはできません。

(9) ランタイムの機能制限

市販のFileMaker Proのメニューの一部は、ランタイムでは使用できません。また、[ヘルプ]メニューも使用できません。不明な点は、このマニュアルをご参照ください。

(10) パスワード設定

セキュリティのために、必ずパスワードを設定してください。

(パスワード設定の詳細は、P7をご参照ください)

(11) ランタイムは無保証

このランタイムは、無保証です。本ソフトウェアの使用によって被ったいかなる損害についても、本ソフトの開発者・提供者は一切責任を負いかねます。

## 8.3 FileMaker Pro とそのファイル使用について

ランタイムアプリではなく、FileMaker Pro ソフトウェアを用いてデータベース構築を考えられる場合は、以下の記載をご参照ください。

### (1) FileMaker Proの特徴

FileMaker Pro は、データベースソフトの1つですが、もともと Mac 系のソフトでした。マイクロソフトの Access のように専門的な知識がなくても、直感的にデータベースをつくるのが可能です。

### (2) FileMaker ProとFileMaker Pro Advancedの相違点

FileMaker Pro Advanced は、FileMaker Proに加え、カスタマイズ機能や開発ツールがついている開発者用ソフトウェアです。このソフトウェアを使って作成したデータベースファイルを FileMaker Pro Advanced を必要としないランタイムソリューションというアプリとして動かすことが可能になります。

### (3) FileMaker Proは、7.0 以上のバージョンが必要

このファイルは、FileMaker Pro11.0 で作成していますので、FileMaker Pro のファイルで使用される場合、FileMaker Pro7.0 以上のソフトウェアが必要です。(7.0 からファイル形式が変更されています。拡張子は、7.0 以上のアプリケーションでは[fp7]となりました)

### (4) ファイル共有

FileMaker Pro のソフトウェアをお持ちの場合は、FileMaker Pro Server のソフトがなくても、最大9人までならイントラネットでファイル共有は可能です。ただ、すべての端末に FileMaker Pro がインストールされている必要があります。また、複数のユーザーが同じ共有ファイルに同時に変更を加えることは可能ですが、同時に変更できる内容のタイプには制限があります。FileMaker Pro Server で管理すれば、そういった制限はありませんが、FileMaker Pro Server のソフトウェアと、ユーザーそれぞれに FileMaker Pro のソフトウェアを準備する必要があります。

### (5) FileMaker ProのインスタントWeb公開

(4)以外に、「インスタント Web 公開」を利用すると、最大5人の Web ユーザーが同時にファイルを共有することができます。ただし、インターネット接続と IP アドレスが必要です。詳細は、お手持ちの FileMaker Pro のヘルプをご参照ください。

(6) FileMaker Proで使用時のファイル

ランタイムではなく FileMaker Pro で動かすときには、 [ファイルメーカー用ファイル] フォルダのなかに、ファイルメーカーの拡張子 [fp7] のファイルが入っていますので、それをご利用ください。

- \* 相談記録.fp7

(7) FileMaker Proでカスタマイズ

配布するファイルは、ユーザー名 : admin、パスワード:admin のアカウントで入ると、完全アクセスになり、カスタマイズが可能です。admin で入った後、ご自分のユーザー名で完全アクセスに設定しておく、次回からご自分のユーザー名で完全アクセスできます。

(8) パスワード設定

セキュリティのために、必ずパスワードを設定してください。

(パスワード設定の詳細は、P7 をご参照ください)

## ランタイム使用時の重要注意点

- ファイルを開くときは、プログラムである[sodanappli.exe]をダブルクリックして起動する  
(またはプログラムのショートカットキーを使用する)。

注) ランタイムのファイルの方を間違っただブルクリックして立ち上げた場合、ハードディスク上に他のランタイムがあると、エラーが出たり、ランタイムで同じ拡張子の別のファイルが開いてしまいます。  
もしご使用のパソコンに、FileMaker Pro が入っていると、FileMaker Pro のファイルの拡張子が変わってしまったりします。

- ランタイムは、単体使用で、ファイル共有はできない。
- ランタイムのフォルダ名や中のランタイムプログラム名、ファイル名は変更しない。
- セキュリティのために、必ずパスワードを設定する。
- 通常のソフトウェアとは異なり「ヘルプ」メニューはない。

## 9. これまでのバージョンからの変更点

### 9.1 FileMaker Pro のデザイン変更

- (1) ランタイム[sodanappli]は、市販のデータベースソフトであるFileMaker Pro Advanced 11.0で作成。
- (2) FileMaker Pro10.0から、いくつか新機能が追加とともに、見た目としてステータスツールバーのデザインが一新している。今まで横に表示されていたものが、上部に表示されるようになっている。

### 9.2 デザイン・ボタンの変更

- (1) レイアウトで手製ボタンの内容や形を一部変更。

新しいボタン：詳細画面

相談基本情報

新規入力 全リスト表示 リスト削除 リスト複製 検索画面へ 検索実行 印刷

基本情報 リストへ 相談内容 権限管理 管理画面 相談集計 期間 相談集計 期間/担当者 データ 出力 終了

基本情報入力状況 入力完了 入力状況選択を忘れずに

相談受付日 2011/07/10 相談ID t0000002

担当者 静岡茶 受付時間 09:32 終了時間 9:38 相談時間 0:06:0

注) 受付時間と終了時間は、〇時〇分を半角数字で時と分の間にコロンをに入れて、入力。  
例えば、8時5分であれば、8:5と入力すると、08:05と表示、13時25分は、13:25と入力。  
時刻は24時間表示で入力、相談時間は自動計算されます。

相談者情報 介入状況 介入終了

相談者氏名 沼津 海 相談者氏名かな ぬまつ うみ

相談者TEL

相談者年齢 999 不明【999】入力 相談者性別 女性 2

相談者属性 不明 9 その他

相談形式 対面相談 1 電話状況 電話以外 4

相談者利用回数 初めて

居住地域(都道府県) 不明 居住地域(詳細) 不明

患者情報

患者ID

患者氏名 沼津 そら 患者氏名かな ぬまつ そら

患者疾患種類 がん 1 患者疾患名

患者年齢 999 不明【999】入力 患者性別 女性 2

患者受診状況 自施設 1

患者受診状況詳細 自施設通院中 2

患者治療状況 治療中 3

がんの状況 再発・転移 2

がんの種類 胃 4

評価：相談支援センターに関する情報入手経路

水色のボタンは、いろいろな機能のボタンで、下の赤枠で囲んである箇所は、タブの役割をして、画面（レイアウト）を切り替える役割を果たしている。



新しいボタン：リスト画面

基本情報リスト							
全ロード表示	ロード削除	ロード複製	検索画面へ	検索実行	ソート		
基本情報入力画面へ	相談内容	継続事例経過確認画面	管理画面	相談集計期間	相談集計期間/担当者	データ出力	終了
基本情報入力状況	相談受付日	相談ID	担当者	受付時間	終了時間	相談時間	
入力完了	2011/07/02	t0000001	富士山	9:35:00	9:43:00	0:08:00	
入力完了	2011/07/10	t0000002	静岡茶	9:32:00	9:38:00	0:06:00	
入力完了	2011/07/13	t0000003	静岡茶	14:20:00	14:53:00	0:33:00	
入力途中	2011/07/13	t0000004	みかん	9:42:00	9:53:00	0:11:00	
入力途中	2011/07/18	t0000005	富士山	13:14:00	13:58:00	0:42:00	

下の赤枠で囲んである画面切り替えタブの機能を果たすボタンは並び等詳細画面と変わらないが、水色のボタンは若干数が少ない。

### 9.3 その他の変更点

#### (1) レイアウトやボタンの種類等の変更

#### (2) 【相談受付】、【相談評価】、【調査票用リスト】の画面削除

これまでの相談記録ツールは、年1回実施されていた相談の調査票の項目にも使えるように、フィールド定義に加えていたが、現在はその形式での調査は終了しているので、削除し簡易化した。なお、情報入手経路は、基本情報画面に組み込んだ。

#### (3) 相談基本情報に、患者氏名、患者IDのフィールドを追加

個人情報に関連した項目はできるだけ使わないようにしていたが、患者氏名、患者ID(カルテID)もあったほうが検索等の際にも便利との声もあり、配置した。個人情報の部分は、枠に色をつけ注意喚起。またパスワードでのファイル保存を推奨。

#### (4) 【相談内容記録】ページレイアウト変更

記録形式を一時3種類準備し、好きな形式で記録できるようにしていたが、煩雑になりやすいため、1つに統一。フォーカスチャータリング等特に形式にこだわらず、問題の背景、相談内容、対応内容、相談者の反応、その他コメント欄とし、記載内容は自由とした。また、分類は厚労省の調査時に用いられていた小項目をそのまま配置。また施設それぞれで独自の分類方法で記録を継続したいときように、編集できる「施設独自の分類法」のプルダウンメニューありの枠を準備した。分類は両方使用しても、片方の形式だけでも可。

(5) 集計画面

相談集計画面に、総相談件数、総相談時間（時分）、相談平均時間（時分秒）、対応内容分類、情報入手経路、最も比重の高い相談内容分類、最も比重の高い対応内容分類を追加。これに伴い、集計画面の印刷は2ページになった。

(6) 対応するExcel形式

FileMaker Pro10 から、Excel 2007 にも対応。

エクセルファイルにエクスポートするときは、ファイル形式を[.xls]または[.xlsx]のどちらでも可能になった。

(7) ランタイムアプリの名称と拡張子

これまで、複数名で使用する際のデータの統合用に[管理用]データベースとして拡張子を変えたランタイムアプリも配布していたが、間違いの元になると考え、一種類に統一。

(10) データ出力

【受付】、【相談内容記録】など、それぞれの画面に表示されている全項目のリストをエクスポート（出力）するためのレイアウトを準備。バックアップなどに、ご利用ください。

(11) 管理画面

ツールの管理的な要素を含む項目をこの画面に集約。「相談担当者とアカウント管理」、「管理日報作成」、「データのインポート」、「値一覧の編集」。

値一覧（プルダウンメニューから選択できる）の編集は、これまでは、相談基本情報画面等からも可能としていたが、管理画面からのみに変更。

(12) 相談内容に項目追加

もっとも比重の高い小項目ともっとも比重の高い対応の2種類の項目を以前に戻して追加した。

(13) アクセス権を修正

ゲストアカウントは、閲覧のみに変更した。

## 9.4 これまでのDBからのデータ移行

今回は、これまでより削除した項目なども多いため、データ移行はせずに以前のデータは、エクセルなどでエクスポートしておいてもよいでしょう。

今回のツールに移行できるデータだけ移行するには、下記をご参照ください。

(1) これまで使用していたランタイムで、全データをエクセルでエクスポートし、任意の場所に保存します。

(2) 出力したExcelファイルの加工

①初めの頃のバージョンでは、複数選択だった<小項目>は、エクセルでは1つのセルに複数の項目が混在しているため、そのエクセルファイルに新たに<小項目>をそれぞれ分解した項目を作成し、<1>か<0>で入力し直す必要があります。この部分を使用されていないようでしたら、そのままかまいません。

例)

	A	B	C
1	オリジナル項目	小項目	
2	病気	がんの治療	セカンドオピニオン
3			
4			
5			



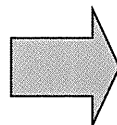
	A	B	C	D	E
1	オリジナル項目	がんの治療	がんの検査	セカンドオピニオン	...
2	病気	1	0	1	
3					
4					
5					

②利用者IDを振り直します。

(新しいバージョンは自動でIDが振られていくので、区別するためにIDを連番で変更します)

例)

	A
1	利用者ID
2	S0000001
3	S0000002
4	S0000003
5	S0000004
6	S0000006



	A
1	利用者ID
2	B0000001
3	B0000002
4	B0000003
5	B0000004
6	B0000005
7	
8	
9	
10	
11	

IDは、整理のためにユニークでついているだけなので、同じNoにならないように変更します。

表、

### ③値一覧の項目一部変更

これまでと対応するコード、選択項目名称が異なるものがあるので、新コード表を参考にエクセルで先にコードを修正してからインポートしてください。

- (3) 新しいランタイムにインポート後のデータを確認するまで、現在使用しているランタイムをフォルダごと USB メモリなどにドラッグしコピーし保管しておいてください。(しばらく様子を見てインポートしたデータの確認、動作の確認終了後、一時保管していた古いランタイムはフォルダごと削除してください。)
- (4) (4)で説明した通り、使用していたランタイムを USB メモリなどに一時保管後、端末の古いランタイムはフォルダごと削除してください。  
その後、新しいランタイムをドラッグしコピーします。
- (5) 上記(1)でエクスポートした古いランタイムに入っていたデータ(エクセルにエクスポートしたデータ)を新しいランタイムにインポートします。

## 10. ランタイムファイルの修復

- (1) 停電、その他の原因でデータベースファイルが損傷を受ける場合があります。ランタイムソリューションが損傷したファイルを発見すると、開発者に連絡するように通知するダイアログボックスが表示されます。表示されなくても、ファイルが破損してしまう場合があります。
- (2) ファイルが損傷した場合は、以下の操作を行ってください。
  - ① WINDOWS システム上では、【Ctrl】 + 【Shift】 キーを押しながらランタイムアプリケーションのアイコンをダブルクリックします (sodanappli という名称です)。[損傷ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されるまでキーを押したままにします。
- (3) 修復作業が終わったら、修復したファイルをランタイムアプリケーションで開きます (3の起動を参照)。
- (4) [ファイル]メニューから[名前をつけて保存...]を選択します。
- (5) ダイアログボックスで、[保存形式]のドロップダウンリストから[最適化コピー (サイズ小)]を選択し、ファイルに名前をつけて[保存]します。圧縮されたファイルには元のファイル名と同じ名前をつけます。
- (6) 元のデータベースのコピーを作成し、修復されたファイルのデータをそのデータベースにインポートします。

## 資料. コードリスト

相談形式	
1	対面相談
2	電話相談
8	その他

電話状況	
1	外線
2	直通
3	内線
4	電話以外

性別	
1	男
2	女
9	不明

相談者属性	
1	患者本人
2	家族・親戚
3	友人・知人
4	一般
5	医療関係者
8	その他
9	不明

患者受診施設	
1	自施設
2	他施設
3	受診医療機関なし
8	その他
9	不明

患者疾患種類	
1	がん
2	がん以外

患者受診状況詳細	
1	自施設入院中
2	自施設通院中
3	他施設入院中
4	他施設通院中
5	受診医療機関なし
8	その他
9	不明

患者治療状況	
1	診断なし_精査中含む
2	治療前_診断後精査中含む
3	治療中
4	治療後
5	経過観察中_概ね治療3ヶ月以降
8	その他
9	不明

がんの状況	
1	初発
2	再発・転移
3	その他
4	不明

がんの種類						
1	眼・脳・神経		9	乳房	17	中皮腫
2	耳鼻咽喉		10	子宮・卵巣	18	肉腫・腹膜・後腹膜
3	食道		11	前立腺・精巣	19	原発不明
4	胃		12	腎・尿管・膀胱	99	不明
5	大腸・小腸		13	甲状腺・副腎		
6	肝・胆		14	リンパ・血液		
7	膵		15	骨		
8	肺・縦隔・心臓		16	皮膚		

情報入手経路	
1	医療機関スタッフ
2	パンフレット
3	家族・友人・知人
4	インターネット
5	同病者やその家族・患者会
6	掲示
8	その他
9	不明

【ソリューションについて】

※このデータベースソリューションには、上記に指定したデベロッパのみが提供できるパスワードが含まれています。

※このランタイムアプリは、無保証です。本ソフトウェアの使用によって被ったいかなる損害についても、本ソフトの開発者・提供者は一切責任を負いかねます。

\*まだこのソフトウェアは開発・試作段階です。  
できるだけ率直なご意見、評価を求めています。  
ご意見、評価、ご不明な点等、上記メルアドまでお問い合わせください。

ソリューション名 : sodanappli

連絡先 (開発者)

411-8777

静岡県駿東郡長泉町下長窪1007

静岡がんセンター

研究所 患者・家族支援研究部

石川 睦弓

TEL:055-989-5222(代表)

E-mail:kanjakazoku@scchr.jp

電子データは、いつデータがこわれるかもしれません。

必ず、バックアップをとっておきましょう。バックアップは毎日エクセルにエクスポートで落とし込んでかまいません。ただし、エクセルもパスワード設定をしてセキュリティに気をつけましょう。



※本ツールは、厚生労働省科学研究費補助金（がん臨床研究事業「相談支援センターの機能の強化・充実と地域における相談支援センターのあり方に関する研究」の分担研究）の補助で作成しています。

平成 23 年度厚生労働科学研究費補助金 (がん臨床研究事業)

相談支援センターの機能の強化・充実と地域における

相談支援センターのあり方に関する研究

(研究代表者：高山 智子)

### 分担研究報告書

がん専門相談員に求められる心理的な問題への対応スキルに関する検討

#### 研究分担者

加藤 雅志 国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部長

#### 研究協力者

吉田 沙蘭 国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部  
心理療法士

#### 研究要旨

相談支援センターにおける相談者に対する心理的サポートの必要性が示唆されていることを踏まえ、がん専門相談員はある一定の水準の心理的サポートに関する知識や技術を習得していくことが求められている。MSW、看護師の認定資格の要件や関連カリキュラム、文献検索、精神保健の専門家の意見を基に、「相談支援センターに勤務するがん専門相談員が習得すべき知識及び技術」について抽出を行ったところ、がん専門相談員に求められる「心理的」な問題への対応スキルが明らかになった。今後、がん専門相談員が、がん患者やその家族の心理的な問題等に適切に対応していくために、必要な知識や技術の習得を目指した研修等の充実が図られていくことが望まれる。

#### A. 研究目的

相談支援センターにおける相談者に対する心理的サポートについては、「がん診療連携拠点病院の緩和ケア及び相談支援センターに関する調査 (2010 年)」によると、相談内容として、「不安・精神的苦痛」に関して、対応したものとして 19.6%、最も比重が高いものとして 5.4%となっており、相談者に対する心理的サポートの必要性が示唆されている。

一方、相談支援センターの現場においては、がん専門相談員として、医療ソーシャルワーカーや看護師が担当していることが多く、がん専門相談員という新しい専門領域において、様々なバックグラウンドを有

した者が勤務している状況がある。そのため、必ずしもすべてのがん専門相談員が、相談者の心理的負担に対する基本的な対応について十分な知識や技術を習得しているわけではない現状となっている。

今後、相談支援センターにおいて、相談者に対して適切な心理的サポートを実施していくことができるよう、がん専門相談員はある一定の水準の心理的サポートに関する知識や技術を習得していくことが望ましい。

これらを踏まえ、本研究では、「相談者が抱える心理的負担への対応」に関して、がん専門相談員が習得していることが望ましい知識や技術について検討を行う。

## B. 研究方法

MSW について、公益社団法人日本医療社会福祉協会が認定を行っている「認定医療社会福祉士」や、看護師について、公益社団法人日本看護協会が認定を行っている「がん性疼痛看護認定看護師」「緩和ケア認定看護師」に求められている要件や関連カリキュラム、文献検索、精神保健の専門家の意見を基に、「相談支援センターに勤務するがん専門相談員が習得すべき知識及び技術」について抽出を行う。

(倫理面への配慮)

本研究では、個人が特定される情報について取り扱っていない。

## C. 研究結果

【がん専門相談員に求められる「心理的サポート」の状況】

1. 患者（家族）との一般的なコミュニケーション
2. 患者のがん罹患に対する通常の心理的反応への対応
3. やや難しい心理的反応（否認、怒り、悲嘆等）への対応
4. 対人関係にともなう心理的反応への対応
5. 意思決定に関わる問題への対応
6. 精神保健の専門家の介入を必要とする精神医学的問題についてのアセスメントと専門家への紹介
7. スピリチュアルな問題への対応
8. 医療従事者とのコミュニケーション

【がん専門相談員に求められる「心理的」な問題への対応スキル】

1. 基本的なコミュニケーションスキル

- ・環境設定に関する基本的な知識
- ・基本的な話の聴き方に関するスキル（言語的／非言語的）
- ・基本的な質問の仕方に関するスキル

### 2. がん患者の一般的な心理的経過に関する知識

- ・診断から治療、寛解、再発、病状悪化までの過程における心理状態の変化に関する知識
- ・がん患者特有の心理的な問題（喪失等）に関する知識

### 3. やや難しい心理的反応（否認、怒り、悲嘆等）に関する知識およびアセスメントスキル

- ・やや難しい心理的反応（否認、怒り、悲嘆等）に関する知識と介入スキルが必要な患者に関する知識
- ・精神保健の専門家へ紹介すべきケースについての心理的苦痛の評価技術と紹介の手順についての知識、あるいは、具体的な対応方法に関する技術

### 4. がん患者によく見られる対人関係の問題に関する知識

- ・がん医療でしばしばみられる対人関係問題（家族内、医療者患者間）に関する知識
- ・適切な対応ができる者への紹介の手順についての知識、あるいは具体的な対応に関する技術

### 5. 意思決定に関する基本的な知識および基本的な意思決定スキル

- ・がん患者が経験する意思決定場面（治療

選択、治療中止、療養場所等)に関する知識

- ・意思決定支援(状況整理、選択肢の検討、関係する要因の検討等)に関する知識

6. うつ病やせん妄に関する基本的な知識およびアセスメントスキル

- ・うつ病やせん妄の診断基準に関する知識
- ・精神保健の専門家へ紹介する手順についての知識

7. がん患者に生じるスピリチュアルペインについての知識

- ・がん患者に生じるスピリチュアルペインについての知識傾聴や共感を中心とした基本的なスピリチュアルケアについての基本的な技術

8. 医療従事者とのコミュニケーションについての知識およびスキル

- ・がん医療における携わるそれぞれの職種専門性と役割に関する知識
- ・相手の立場を尊重した基本的なコミュニケーションスキル

D. 考察

わが国のがん対策の方向性を定める「がん対策推進基本計画」が、平成24年度に見直しを行うこととされており、平成24年4月現在、その見直し案が「がん対策推進協議会」においてとりまとめられた。その中で、相談支援センターに関して、「がんに関する相談支援と情報提供」の取り組むべき施策として、「拠点病院は、相談支援センターと院内診療科との連携を図り、特に精神心理的苦痛を持つ患者とその家族に対

して専門家による診療を適切な時期に提供できるよう努める」と記載されている。

これまでも、相談支援センターでは、がん患者や家族などの不安の軽減を図るための相談支援を行っていくことが求められていたが、見直しされるがん対策推進基本計画においては、さらに、がん専門相談員が対応困難な場合には、適切な者につないでいくことが求められることとなった。

現在、がん専門相談員の研修において、国立がん研究センターが作成した『がん専門相談員のための学習の手引き』が使用されており、そこに含まれている心理に関する内容は以下のとおりである。

1. がん患者の心理社会的側面に関する基本的な知識
2. 基本的なコミュニケーションスキル
3. 相談員に特有のコミュニケーション知識

今後、がん専門相談員が、がん患者やその家族の心理的な問題等に適切に対応していくために、さらに、以下の内容についても習得していくことができるよう検討していくことが望まれる。

- ・がん患者によく見られる対人関係の問題に関する知識
- ・やや難しい心理的反応(否認、怒り、悲嘆等)に関する知識およびアセスメントスキル
- ・うつ病やせん妄等の精神障害に関する基本的な知識およびアセスメントスキル
- ・意思決定に関する基本的な知識および基本的な意思決定スキル
- ・がん患者に生じるスピリチュアルペ